オーディオは悩ましい 21

原島一男

パソコンオーディオって？

オーディオの世界だけに限らないが，世の動きについて行くには頭脳のアップデートが必要なことはいうまでもない．対象は何であれ，多忙な毎日の中，情報洪水の中でのアップデートは悩みの種ではあるが，時代は大きく移り動いていて，想像するよりはるかに速く動いていることを感じる．新しい情報に接し，製品を観察して，試聴してみた．

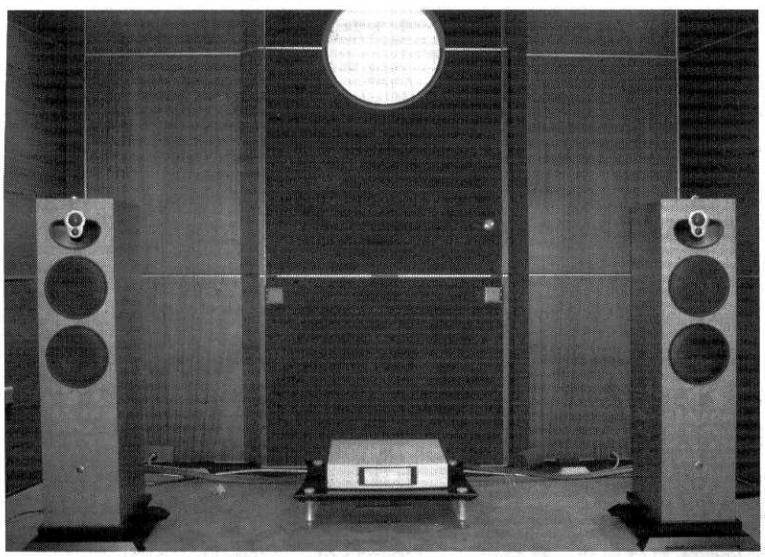
わかったことは，今，パソコンオーディオを使ってインターネットで販売中のデジタル音源を自宅のPCで取り込み，D/Aコンバーターで処理して音楽を楽しんでいる人たちがいること．その音質は，昔のオリジナルマスターテープのレベル以上だということ．そして，「インターネットからダウンロードした音源には音質的に疑問が残る」というコメントは過去の話になった．今ではiPodはイヤフォンだけで聴くものではなく，処理の仕方によってはMP3からも高品位な音質を得られるという．

スコットランドの都市グラスゴーに本社を持つLINN（リン）．銀座の並木通りに，リンのショールームを訪れてみた．あの40年近い超ロングセラー「リン・ソンデックLP12」アナログプレーヤーは今でも健在．デジタル時代になって，1998年に発表した「リン・ソンデックCD12」は2004年に生産を終了した．そしてリンが次に開発したのはDigital Stream（DS）だ．DSとは，CDやインターネットからの音楽情報を，PC経由でいったんサーバー（ハードディスク）へ格納してから，D/Aコンバーターでアナログ変換し，パワーアンプへ導くというシステムである．気になる価格は，最高峰のKlimax DSが294万円，エントリーモデルのSneaky Music DSが29万4千円だ．

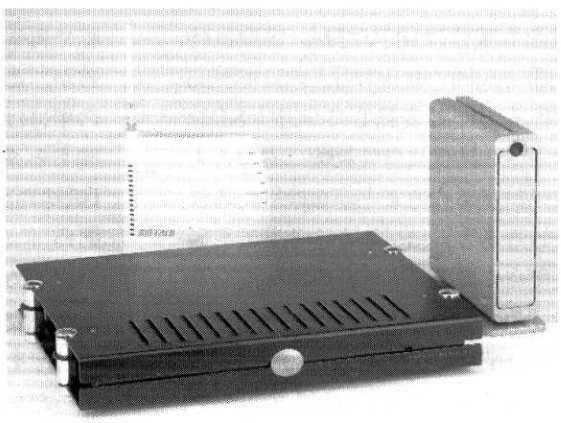
船室を模した板張りのインテリアを持つ試聴室で，ハンク・ジョーンズの最新録音を聴いた．エロール・ガーナーのミスティー．90歳を越えたとは思えぬピアノタッチの微妙さを見事に再現する．ピアノタッチといえば，このふわっとした柔らかいタッチはどうだろう．このピアノを聴きながら，「ウラディミール・ホロヴィッツが自分の指はガラスでできていると信じていて，ピアノの鍵盤を打つたびに指が粉々に割れるのではないかと恐れていた」という話を思い出した．ハンク・ジョーンズなら，そんな心配をしないでいいのかな？！

その後に聴いた往年のアニタ・オデイのボーカルの息づかいは，わたくしの聴感をこよなく，柔らかく刺戟した．改めてオーディオの奥の深さを堪能した．

実を言うと，ダウンロードした音源の音質が，こんなに良いことを発見したのは初めてだった．これまでは圧縮されたMP3の音は良いはずがない，という先入観を強く持っていた．リンは1枚のCDについて，①MP3クオリティ（$12），②CD



リンの銀座ショールームには同社の最新情報が集まっている．室内は船室のイメージでデザインされている



リンのDigital Stream機器のエントリーモデル，Sneaky Music DS．コンパクトな本体にはデジタルパワーアンプを内蔵．LANのHUBと音楽データ格納用の外部ハードディスクが必要